

## 国民体育大会競技運営部会規程

## 第1章 総則

第1条 この規程は、国民体育大会委員会（以下「国体委員会」という。）規程第97条の規定に基づいて設置された、国民体育大会競技運営部会（以下「部会」という。）に関することを定める。

## 第2章 審議事項

第2条 部会は、国民体育大会（以下「国体」という。）における競技運営についての専門事項を審議する。

## 第3章 部会委員及び部会長

第3条 部会は、次の部会委員をもって構成する。

- (1) 国体委員会委員長が、国体委員会委員の中から指名する若干名の部会委員
- (2) 本会加盟競技団体のうち国体の実施競技（正式競技及び公開競技）団体及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出する各1名の部会委員

第4条 部会の部会長は、国体委員会委員長があたる。

## 第4章 任期

第5条 部会委員の任期は、委嘱日から開始し、本会理事の任期と同じく終了する。ただし、再任を妨げない。

## 第5章 部会

第6条 部会は、必要に応じ委員長が招集し、議長となる。

第7条 部会の議事は、出席部会委員の過半数で決定する。

## 第6章 補則

第8条 その他部会について必要な事項は、国体委員会で定める。

## 附則1

1. この規程は、昭和52年5月17日から施行する。

## 附則2

1. この規程は、平成14年7月2日から施行する。

## 附則3

1. この規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

## 附則4

1. この規程は、平成25年3月13日から施行する。
2. 第3条（2）に規定する部会委員の構成については、平成25年度定時評議員会の終結の時から適用する。

## 附則5

1. この規程は、平成29年6月23日から施行する。

# 国民体育大会委員会医事部会規程

## 第1章 総則

**第1条** この規程は、国民体育大会委員会（以下「国体委員会」という。）規程第97条の規定に基づいて設置された、国体委員会医事部会（以下「部会」という。）に関することを定める。

## 第2章 審議事項

**第2条** 部会は、国民体育大会における選手の医科学サポート及びドーピングコントロールなど、医事関係についての専門事項を審議する。

## 第3章 部会員及び部会長

**第3条** 部会は、次の部会員をもって構成する。

- (1) 国体委員会委員長が、国体委員会委員の中から指名する若干名の部会員
- (2) 国体委員会委員長が、学識経験者の中から指名する若干名の部会員

**第4条** 部会の部会長は、国体委員会委員長が国体委員会委員の中から指名した者があたる。

## 第4章 任期

**第5条** 部会員の任期は、国体委員会委員と同じく2年とする。ただし、再任は妨げない。

## 第5章 部会

**第6条** 部会は、必要に応じ部会長が招集し、議長となる。

**第7条** 部会の議事は、出席部会員の過半数で決定する。

## 第6章 補則

**第8条** その他部会について必要な事項は、国体委員会で定める。

### 附則1

1. この規程は、平成14年7月2日から施行する。

### 附則2

2. この規程は、平成29年6月23日から施行する。

# 競技者育成部会規程

## 第1章 総則

**第1条** この規程は、国民体育大会委員会（以下「国体委員会」という。）規程第97条の規定に基づいて設置された、競技者育成部会（以下「部会」という。）に関することを定める。

## 第2章 審議事項

**第2条** 部会は、国民体育大会等における競技者の育成・支援、情報の収集、分析及び提供等についての専門事項を審議する。

## 第3章 部会委員及び部会長

**第3条** 部会は、次の部会委員をもって構成する。

- (1) 国体委員会委員長が、国体委員会委員の中から指名する若干名の部会委員
- (2) 国体委員会委員長が、学識経験者の中から指名する若干名の部会委員

**第4条** 部会の部会長は、国体委員会委員長が国体委員会委員の中から指名した者があたる。

## 第4章 任期

**第5条** 部会委員の任期は、委嘱日から開始し、本会理事の任期と同じく終了する。ただし、再任は妨げない。

## 第5章 部会

**第6条** 部会は、必要に応じ部会長が招集し、議長となる。

**第7条** 部会の議事は、出席部会委員の過半数で決定する。

## 第6章 補則

**第8条** その他部会について必要な事項は、国体委員会で定める。

### 附則1

1. この規程は、平成29年4月20日から施行する。

### 附則2

1. この規程は、平成29年6月23日から施行する。

## 国民体育大会委員会規程

### 第 1 章 総 則

第 1 条 公益財団法人日本体育協会（以下「本会」という。）定款第 4 2 条の規定に基づいて、国民体育大会委員会を設ける。

### 第 2 章 所管事項

第 2 条 この委員会は、次の事項を協議し、理事会に意見を具申するとともに、理事会の諮問に応ずる。

（1）国民体育大会の開催に関すること。

### 第 3 章 委 員

第 3 条 この委員会に、次の委員を置く。

委員長 1 名

委 員 若干名

第 4 条 委員長は、理事又は学識経験者の中から会長が委嘱する。

2. 委員長は、会長が委任した事項における業務を執行する。

3. 委員は、委員長が本会理事、本会加盟団体役員及び学識経験者のうちから推薦する者を、理事会に諮って、会長が委嘱する。

### 第 4 章 任 期

第 5 条 委員の任期は、委嘱日から開始し、本会理事の任期と同じく終了する。ただし、再任を妨げない。

### 第 5 章 委 員 会

第 6 条 委員会は、委員長が招集して、その議長となる。

2. 委員会の議事は、委員の合意により決定する。

第 7 条 この委員会に、委員会の議決を経て、必要な部会等を設けることができる。

### 第 6 章 規程の変更

第 8 条 この規程は、理事会の議決により変更することができる。

附則 1

1. この規程は、昭和50年4月1日から施行する。
2. この規程施行と同時に昭和48年5月16日施行の財団法人日本体育協会国民体育大会委員会規程は、これを廃止する。

附則 2

1. この規程は、昭和52年4月26日から施行する。

附則 3

1. この規程は、平成2年1月17日から施行する。

附則 4

1. この規程は、平成3年4月1日から施行する。

附則 5

1. この規程は、平成14年6月11日から施行する。

附則 6

1. この規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

附則 7

1. この規程は、平成29年6月23日から施行する。

## 第 73 回国民体育大会冬季大会 概要（報告）

### I. スケート競技会・アイスホッケー競技会

1. 会 期 : 平成 30 年 1 月 28 日 (日)～2 月 1 日 (木) [5 日間]
2. 会場地 : 【スケート競技会】 山梨県甲府市、富士吉田市  
【アイスホッケー競技会】 神奈川県横浜市
3. 開始式・表彰式 :  
【スケート競技会】  
開始式 : 1 月 28 日 (日) 富士吉田市民会館富士五湖文化センター (ふじさんホール)  
表彰式 : 2 月 1 日 (木) 富士吉田市民会館富士五湖文化センター (ふじさんホール)  
【アイスホッケー競技会】  
開始式 : 1 月 27 日 (土) 新横浜プリンスホテル  
表彰式 : 2 月 1 日 (木) KOSÉ 新横浜スケートセンター
4. 参加者数 : 選手・監督 1,404 名 / 本部役員 363 名 / 計 1,767 名
5. 各競技会の成績 :

#### 《スケート競技会》

##### 男女総合成績

順位	都道府県	得点
1	長野県	224
2	北海道	187
3	愛知県	123
4	大阪府	110
5	東京都	108
6	山形県	107
7	福井県	86
8	山梨県	84

##### 女子総合成績

順位	都道府県	得点
1	長野県	117
2	東京都	83
3	北海道	77
4	愛知県	76
5	山梨県	64
6	大阪府	57
7	山形県	54
8	京都府	47

#### 《アイスホッケー競技会》

##### 総合成績

順位	都道府県	得点
1	北海道	90
2	青森県	75
3	埼玉県	55
4	栃木県	45
	神奈川県	
6	東京都	40
7	長野県	30
8	宮城県	25
	福井県	

## II. スキー競技会

1. 会期：平成30年2月25日（日）～28日（水） [4日間]
2. 会場地：新潟県妙高市
3. 開始式・表彰式：【開始式】 2月25日（日） 妙高市文化ホール  
【表彰式】 2月28日（水） 妙高市文化ホール
4. 実施競技：スキー競技（ジャイアントスラローム、スペシャルジャンプ、  
クロスカントリー、コンバインド）
5. 参加者数：選手・監督1,467名 / 本部役員336名 / 計1,803名
6. 競技会の成績：

男女総合成績

順位	都道府県	得点
1	長野県	183.5
2	北海道	155
3	新潟県	145
4	秋田県	120
5	岐阜県	84
6	岩手県	52
7	青森県	39
8	福井県	34

女子総合成績

順位	都道府県	得点
1	長野県	68
2	秋田県	49
3	北海道	45
4	新潟県	40
5	福岡県	30
6	岐阜県	25
7	青森県	24
8	岩手県	21

### ※イベント事業：

- ・ フリースタイルスキー・モーグル種目  
平成30年2月25日（日）～27日（火） 十日町市・松之山温泉スキー場
- ・ スノーボード・ハーフパイプ種目  
平成30年3月2日（金）～4日（日） 南魚沼市・石打丸山スキー場

### ※ ドーピング検査 \*公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が実施

- 競技会検査を実施（結果は分析中）

## 第73回国民体育大会冬季大会 協賛社一覧

### ■国体パートナー（H29年度協賛企業）

企業・法人名	備考（協賛カテゴリー）
アシックスジャパン株式会社	スポーツ用品並びにスポーツ用具
大塚製薬株式会社	清涼飲料水（アルコール飲料を除く）
ミズノ株式会社	スポーツ用品並びにスポーツ用具
三井住友海上火災保険株式会社	損害保険
株式会社ローソン	コンビニエンスストア

### ■冬季国体パートナー（スキー）

企業・法人名	備考（業種）
株式会社ミタカ	冷凍・空調等設備

### ■ゼッケンスポンサー

企業・法人名	対象種目	備考（業種）
株式会社ミタカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャイアントスラローム</li> <li>・クロスカントリー</li> <li>・スペシャルジャンプ</li> <li>・コンバインド</li> </ul>	冷凍・空調等設備

### ■冬季国体スポンサー（企業名のみ）

日産新潟会	自動車販売
新潟県トヨタ販売店グループ	自動車販売
株式会社加賀田組	建設業

※上記以外に、冬季国体サポーター1社、大会協力企業2社から協賛



# 第73回国民体育大会冬季大会

(富士の国やまなし国体/氷闘!かながわ・よこはま冬国体/にいがた妙高はね馬国体)

## 企業協賛実施報告

### <看板掲出会場一覧>

#### ○スケート競技会(山梨県)

No.	競技名	会場名	日程	開催市
1	開始式・表彰式	富士吉田市民会館富士五湖文化センター (ふじさんホール)	1/28, 2/1	富士吉田市
2	スピード	富士急ハイランドセイコオーバル	1/29~2/1	富士吉田市
3	フィギュア	小瀬スポーツ公園アイスアリーナ	1/28~31	甲府市
4	ショートトラック		1/31~2/1	甲府市

#### ○アイスホッケー競技会(神奈川県)

No.	競技名	会場名	日程	開催市
1	開始式	新横浜プリンスホテル	1/27	横浜市
2	アイスホッケー	KOSÉ新横浜スケートセンター	1/28~2/1	
3		横浜銀行アイスアリーナ	1/28~2/1	

※アイスホッケー競技会表彰式はKOSÉ新横浜スケートセンターでの決勝戦終了後に行う

#### ○スキー競技会(新潟県)

No.	競技名	会場名	日程	開催市
1	開始式・表彰式	妙高市文化ホール	2/25,28	妙高市
2	ジャイアントスラローム	赤倉観光リゾートスキー場	2/26~28	
3	クロスカントリー	赤倉観光リゾートクロスカントリーコース	2/26~28	
4	ジャンプ	妙高高原赤倉シャンツェ	2/26~27	

### <看板デザイン>



全競技会共通使用



スケート・  
アイスホッケー競技会  
使用時



スキー競技会使用時

### <ゼッケンデザイン(全種目)>



デザイン例: スペシャルジャンプ少年男子



スケート競技会(平成30年1月28日~2月1日)  
アイスホッケー競技会(平成30年1月28日~2月1日)



@富士吉田市民会館富士五湖文化センター  
(ふじさんホール)



@富士急ハイランドセイコオーバル



@小瀬スポーツ公園アイスアリーナ



@横浜銀行アイスアリーナ

スキー競技会(平成30年2月25日~2月28日)



@妙高市文化ホール



@赤倉観光リゾートスキー場



@赤倉観光リゾート クロスカントリーコース



@妙高高原赤倉シャンツェ

## 国民体育大会冬季大会の開催実績及び今後の開催予定

◆平成12年(第55回大会)以降の冬季大会開催都道府県

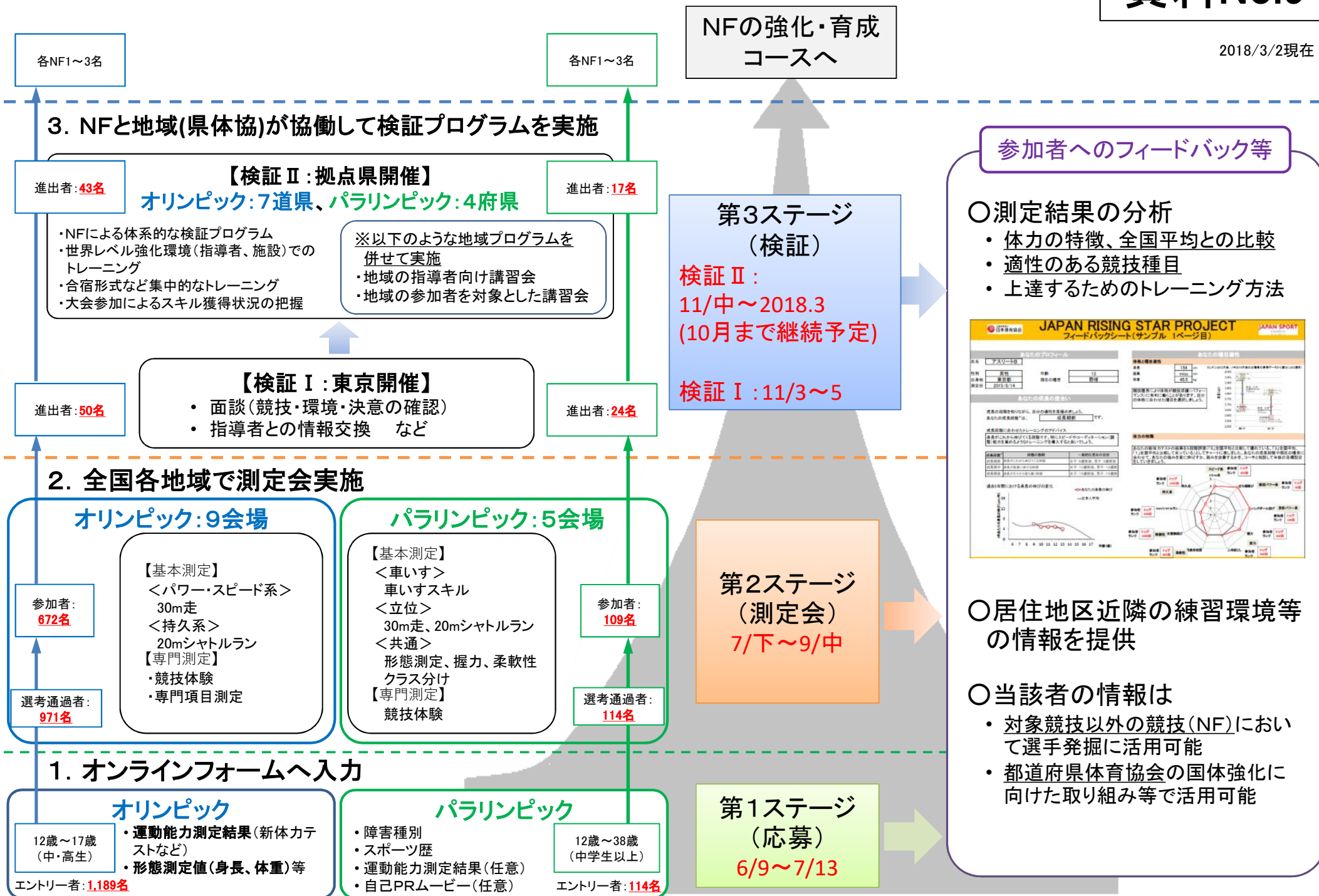
H30.3.2

大会		本大会	冬季大会		
年	回		スキー	スケート	アイスホッケー
2000(H12)	55	富山	富山★	青森	
2001(H13)	56	宮城	長野	山梨	
2002(H14)	57	高知	新潟	北海道	
2003(H15)	58	静岡	北海道	群馬	
2004(H16)	59	埼玉	山形	青森	
2005(H17)	60	岡山	岩手	山梨	東京
2006(H18)	61	兵庫	群馬	北海道	
2007(H19)	62	秋田	秋田★	群馬	
2008(H20)	63	大分	長野		
2009(H21)	64	新潟	新潟★	青森	
2010(H22)	65	千葉	北海道		
2011(H23)	66	山口	秋田	青森	
2012(H24)	67	岐阜	岐阜★	(ス)岐阜★ (シ・フ)愛知	愛知
2013(H25)	68	東京	秋田	東京★(ス福島)	
2014(H26)	69	長崎	山形	栃木	
2015(H27)	70	和歌山	群馬		
2016(H28)	71	岩手	岩手★		
2017(H29)	72	愛媛	長野		
2018(H30)	73	福井	新潟	山梨	神奈川
2019(H31)	74	茨城	北海道		
2020	75	鹿児島	富山	青森	
2021	76	三重	秋田	(ス・岐阜) (シ・フ・愛知)	(愛知)
2022	77	栃木	(未定)		
2023	78	佐賀	(未定)		
2024	79	滋賀	(未定)		
2025	80	青森	(未定)		
2026	81	宮崎	(未定)		
2027	82	長野	長野		
2028	83	群馬	(未定)		

【注】① ★印の都道府県は、国体本大会(夏秋季大会)と冬季大会を併せて開催。

② スケート競技会の(ス)はスピード種目を、(シ)はショートトラック種目を、(フ)はフィギュアスケート種目を表す。

2018/3/2現在



※年齢は平成29年(2017年)4月1日現在

※NF: 中央競技団体、県体協: 都道府県体育(スポーツ)協会

# ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト 2017年度実施状況

## 概要

第2期スポーツ基本計画及び「競技力強化のための今後の支援方針（鈴木プラン）」にて、次世代アスリートの発掘・育成が重要な課題として位置付けられ、本年度、日本体育協会は、全国の将来性豊かなアスリートを発掘するためのプロジェクト「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」を開始した。

日本体育協会は、JSC、JOC、JPCなどの関係団体と連携して全国各地で発掘プログラムを展開し、競技毎に拠点となる都道府県（拠点県）にて、世界レベルの指導者とともに合宿形式でのトレーニング等を行うなど、本事業を通じて、オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて有望なアスリートを選抜し、競技団体の強化育成コースに導いていく。

## 【結果報告】 第1ステージ（書類審査）のエントリー数

	オリンピック競技	パラリンピック競技	計
男性	600	83	683
女性	589	31	620
計	1,189	114	1,303

## 2017年度のスケジュール

6月～7月 第1ステージ：エントリー、書類審査  
 7月～10月 第2ステージ：全国14か所で体力測定会  
 11月～2018.3月※ 第3ステージ：拠点県でのトレーニング等、  
 検証・評価  
 ※2018.10月まで継続予定

## 【結果報告】 第3ステージ（競技拠点県でのトレーニング等）への進出者数

オリンピック競技				パラリンピック競技			
競技（拠点県）	男	女	計	競技（拠点県）	男	女	計
ウェイトリフティング（山梨県）	3	3	6	車いすフェンシング（京都府）	2	1	3
自転車（滋賀県）	2	4	6	自転車（山口県）	1	0	1
水泳／飛込（新潟県）	1	4	5	水泳（奈良県）	1	1	2
ソフトボール（高知県）	-	7	7	パワーリフティング（京都府）	1	1	2
7人制ラグビー（北海道）	-	7	7	ボッチャ（大阪府）	6	3	9
ハンドボール（熊本県）	0	7	7				
ボート（埼玉県）	2	3	5				
計	8	35	43	計	11	6	17



2018年度は7～9月に  
エントリーを受付予定

## 日本スポーツ協会

## コーポレートメッセージ、コーポレートカラー、ロゴ

## 1. 日本スポーツ協会コーポレートメッセージ

日本スポーツ協会のコーポレートメッセージとして、“スポーツ宣言日本”や“21世紀の国民スポーツ推進方策”の内容を端的に表現したメッセージを制定する。

スポーツと、望む未来へ。

## 2. 日本スポーツ協会コーポレートカラー

これまで日本体育協会でも基調色として活用してきた以下の3色を日本スポーツ協会のコーポレートカラーとして制定する

カラー1(赤)



DIC	2494(近似色)	CMYK	C20 + M100 + Y100
PANTONE	3517C(近似色)	RGB	R199 G22 B30

カラー2(紺)



DIC	F6(近似色)	CMYK	C100 + M70 + K60
PANTONE	648C(近似色)	RGB	R0 G33 B91

カラー3(黒)



DIC	582(近似色)	CMYK	K100
PANTONE	Black C(近似色)	RGB	R0 G0 B0

## 3. 日本スポーツ協会ロゴ

日本スポーツ協会マークと団体名称文字を組み合わせたものを日本スポーツ協会ロゴとして制定する。伝統と格式を表す明朝体を、視認性を考慮し太めのフォントで作成。英語版は作成中。

(日本語版)

(英語版)



JSPO

注2ロゴについては作成中

(注1) 日本スポーツ協会マークとして、従前の日本体育協会マークを継続して使用(色調を調整)。

## 4. 適用時期等

- ・ 上記メッセージ等は平成30年4月1日から使用する。
- ・ 使用にあたっては別途広報・スポーツ情報専門委員会にてレイアウトや展開例、使用条件などについて明記したデザインガイドラインを定め、運用する。

## 平成 30 年度 国民体育大会委員会・国体検討小委員会等開催日程（案）

2018. 3. 2 現在

月 日	時 間	会 場	会 議 名	出席者					備 考
				国体委員			競技運営部会員	都道府県体協	
				正副委員長	検討小委員	国体委員			
平成 30 年(2018 年) 5 月 10 日 (木)	14 時	理事・監事室	第 1 回国体検討小委員会	○	○				4/13(金) 加盟団体事務局長会議 4/20(金) 第 1 回理事会
6 月 7 日 (木)	14 時	504・505 号会議室	第 1 回国体競技運営部会	○			○		6/ 6(水) 第 2 回理事会
6 月 14 日 (木)	11 時	理事・監事室	第 2 回国体検討小委員会	○	○				6/22(金) 定時評議員会
	14 時	理事・監事室	<b>第 1 回国民体育大会委員会</b>	○	○	○			
7 月 19 日 (木)	14 時	理事・監事室	第 3 回国体検討小委員会	○	○				7/18(水) 第 3 回理事会 8/ 1(水) IH 総合開会式<三重>
8 月 30 日 (木)	11 時	理事・監事室	第 4 回国体検討小委員会	○	○				<b>【国体・本大会】福井</b> 会期前 9/9(日)～17(月) 本会期 9/29(土)～10/9(火) 自転車 9/25(火)～9/29(土)
	14 時	理事・監事室	<b>第 2 回国民体育大会委員会</b>	○	○	○			
11 月 16 日 (金)	14 時	理事・監事室	第 5 回国体検討小委員会	○	○				11/8(木) 第 4 回理事会
12 月 13 日 (木)	11 時	理事・監事室	第 6 回国体検討小委員会	○	○				
	14 時	理事・監事室	<b>第 3 回国民体育大会委員会</b>	○	○	○			
平成 31 年(2019 年) 1 月 17 日 (木)	14 時	理事・監事室	第 7 回国体検討小委員会	○	○				1/16(水) 第 5 回理事会 <b>【国体・冬季大会】北海道</b> スケート・アイスホッケー 1/30(水)～2/3(日) スキー 2/14(木)～17(日)
3 月 1 日 (金)	11 時	理事・監事室	第 8 回国体検討小委員会	○	○				3/ 6(水) 第 6 回理事会
	14 時	理事・監事室	<b>第 4 回国民体育大会委員会</b>	○	○	○			
3 月 20 日 (水)	10 時	504・505 会議室	都道府県体育協会国体連絡会議	○				○	3/20(水) 臨時評議員会 (秩父宮記念スポーツ医・科学賞表彰式)

・国体委員懇談会等については必要に応じて開催。

## 平成 29 ・ 30 年度 国民体育大会委員会 委員名簿

2018. 3. 2 現在

No	役職名	氏 名	本会役職等	所属団体等	検討小委員会
1	委員長	大野 敬三	理 事	千葉県体育協会	○
2	副委員長	菊 幸一	学識経験者	筑波大学	○
3	副委員長	鈴木 浩二	学識経験者	日本水泳連盟	○
4	委 員	飯坂 尚登	学識経験者	秋田県・秋田県体育協会	○
5	委 員	今井 純子	理 事	日本サッカー協会	
6	委 員	池田 めぐみ	学識経験者	山形県体育協会	
7	委 員	川原 貴	学識経験者	スポーツ医・科学専門委員会委員長	○
8	委 員	坂井 利郎	評 議 員	日本テニス協会	○
9	委 員	三戸 一嘉	評 議 員	埼玉県体育協会	○
10	委 員	柴田 益孝	評 議 員	岐阜県体育協会	○
11	委 員	菅原 哲朗	学識経験者	弁護士	○
12	委 員	高橋 有紀子	学識経験者	ケイ・ブロス	
13	委 員	友永 義治	評 議 員	日本陸上競技連盟	○
14	委 員	松田 基子	学識経験者	大阪体育大学	
15	委 員	松永 敬子	学識経験者	龍谷大学	○
16	委 員	松丸 喜一郎	学識経験者	日本オリンピック委員会 ライフル射撃協会	
17	委 員	山本 浩	学識経験者	法政大学	○
18	委 員	横田 匡俊	学識経験者	三菱総合研究所	○
19	委 員	前島 斉	学識経験者	全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主幹課長協議会 山梨県	
20	委 員	三井 勉	開 催 県	山梨県教育庁国体推進室	
21	委 員	野上 文敏	開 催 県	新潟県教育庁保健体育課スキー国体室	
22	委 員	加藤木 紳克	開 催 県	神奈川県スポーツ局	
23	委 員	国久 敏弘	開 催 県	福井県国体推進局	
24	委 員	丹羽 治夫	開 催 県	福井県体育協会	
25	委 員	甲谷 恵	開 催 県	北海道環境生活部文化・スポーツ担当局	
26	委 員	石田 奈緒子	開 催 県	茨城県国体・障害者スポーツ大会局	
27	委 員	根本 聡	開 催 県	茨城県体育協会	
28	委 員	米山 隆	開 催 県	富山県総合政策局スポーツ振興課	
29	委 員	中藪 良郎	開 催 県	鹿児島県国体・全国障害者スポーツ大会局	
30	委 員	高城 国昭	開 催 県	鹿児島県体育協会	
31	委 員	齊藤 譲	開 催 県	秋田県体育協会	
32	オブザーバー	関 伸夫		スポーツ庁競技スポーツ課	○